

よむよむさんから子どもたちへ 読み聞かせを通じてつたわる、つながる想い

美山小学校では、火曜日の朝に“読み聞かせボランティアよむよむさん”（子ども達は親しみを込めて“よむよむさん”とお呼びしています）にお世話になり、学年ごとに本の読み聞かせをしていただいています。その回数は令和6年度を例にとりますと実に年間27回にも及びます。1回に2,3冊読んでいただくこともありますので、入学してから卒業するまでの6年間でおよそ200冊の本を読み聞かせていただいていることとなります。この“よむよむさん”の温かいお気持ち子ども達にしっかりと届いていることが分かった出来事がありましたので紹介します。



いつも読み聞かせをしていただいている図書委員会の子も達から、自分たちでほかの子ども達に読み聞かせをしたいという意見が出たのです。これには、昨年度後期から委員会では“美山小学校をより良くするため”の活動内容を自分たちで考えてきたということもかかわっていると思われます。そして、実際に読み聞かせにチャレンジする中で、図書委員会の子も達が「読み聞かせのコツや選書の方法を“よむよむさん”に教

えてもらいたい！」と自ら発案するに至ったのです。2月5日（水）の委員会活動の時間には、急なお願いにもかかわらず、“よむよむさん”から5名の方にお越しいただき、テーマ『読み聞かせの本の選び方』に沿



って“よむよむさん”と

子ども達が一人ずつ組んで話し合い、読み聞かせの工夫を教えていただきながら、担当する学年にあった本と一緒に選んでいきました。実際に声を出して読んで聞いていただく場面も見受けられました。



いよいよ子どもたちによる読み聞かせ本番！



「次は“よむよむさん”と一緒に、読み聞かせをしてみたい！」という声も聞かれます。これからも、“よむよむさん”と図書委員会の子も達とのコラボから目が離せません。

“よむよむさん”にご指導いただいたことを生かして、しっかり練習を重ね、3月5日（水）全学年に読み聞かせを行うことができました。

児童からは、「本を選ぶ時は、教室の後ろまで見えるように、絵がはっきりした本がいいことがわかりました。」「絵本の持ち方を初めて知りました。」などの感想が挙がっていました。



小中学校での読書の取組を地域でも！互いに本を紹介しあって地域みんなで読書習慣を！…第4弾…
毎年、子どもたちと保護者を対象に学校でアンケートをとっています。その中に読書に関する項目もあります。
アンケートの結果を受けて今年話題になったことは、子どもの読書経験が減っている？という問題の前に
果たして大人は普段読書をしているのか？という疑問です。
そこで本を紹介する企画の第4弾。ぜひ大人ももっと本を読んで子どもたちと一緒に学びましょう！

いろいろ広がる 本の世界 Vol. 4

おすすめの本：

『ふたりのロツテ』 エーリヒ・ケストナー著

「大人」になってはや十数年(まだまだ半人前でしょうか?)、すっかり「大人」そして親であることに慣れ、我が子に「大人」の都合を押し付けては反省している日々です。

私たち「大人」も、たしかにあの頃子どもであったはずなのに、気を抜くとそれをすっかり忘れてしまいます。

この『ふたりのロツテ』は、そんな「大人」たちに、そして今子どもである人たちに読んで欲しい一冊です。ある夏、林間学校で出会ったロツテとルイーゼ。二人は離婚した両親にそれぞれ別に引き取られた双子の姉妹でした。物静かでしっかり者のロツテと活発で負けん気の強いルイーゼ。性格こそ真逆なもの外見はうり二つの二人は、両親を仲直りさせて再び家族で暮らすために、とんでもない計画を立てるのですが……？



本の紹介者：



美山小学校 ことばの力育成支援員 佐々木加奈 先生

私がこの本をはじめて読んだのは、小学校4年生か5年生の時でした。ストーリーにハラハラドキドキし、時折描かれる大人へのユーモアあふれる皮肉に笑い、そして子どもであるがゆえの悩みや苦しみを理解し、寄り添ってくれる作者の姿勢にとても好感を持ったことをよく覚えています。

(大人からしてみれば)まだまだ子どもだけれど、少しずつ大人になり、周囲の大人への不満を感じていたあの頃、ちょうどそれを代弁してくれたのがこの本だったのだと思います。

さて、今回この文章を書くにあたって、久しぶりに読み返してみました。

子どもであっても一人の人間として尊重し、しっかりと敬意を払う作者から子どもへの愛情をひしひしと感じ、「ああ、私はこういう大人になりたいんだ！」と思い返すことができました。そして、私にとってこの本は特別な一冊なのだ改めて感じました。

ふたりのロツテ

エーリヒ・ケストナー作
池田香代子訳



『ふたりのロツテ』
エーリヒ・ケストナー/作
池田 香代子/訳
岩波書店

美山小学校の図書室にも
所蔵していますので、
ぜひ手に取ってみてください

Read More Learn More

「美山学」では、地域と学校と保護者が一緒になって子どもたちの学びについて考え、美山の歴史・文化・自然・人・物・事を教材として学びます。地域の方たちがTeam-MIYAMAGAKUとして受け皿となり、様々な教科を通じて、自ら考える力、表現力、コミュニケーション能力を高める学習に取り組んでいます！